

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスLiebeままはら		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数)	4人
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5人	(回答者数)	3人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日異なった活動を行うことで、さまざまな体験を提供できている。	<ul style="list-style-type: none"> 「運動」や「料理」「SST」などのジャンル分けされた活動を一ヶ月に盛り込み、様々な体験を促している。 運動やSST等の継続的に取り組むことも大切にしながら外出や工作等では子どもさんが飽きないようにいろんなバリエーションで行っている。 	活動プログラムをチームで作成し、保護者様やお子様からの意見を取り入れながら活動を計画していく。
2	日々の事務作業やお子様の支援記録、送迎表等をHUGシステムを用いて業務効率化に注力している。そのことで、支援、活動準備に力を入れられるようにしていること。	業務効率化に必要なツールを全職員が有効活用するために、業務情報や作業内容を把握できる基準書を作成している。	定期的な業務の方法や効率を見直す機会を設ける。
3	お子様の活動スペースが広いこと、部屋が3つほどあるので状況に合わせて支援できること。	<ul style="list-style-type: none"> 走りまわるときには、近くに危ないものがないかの環境づくりと事前にルールを決めている。 学習時には周りの声で集中できないお子様に対して別室で行うように工夫している。 	開放的に遊べるような環境づくり、掲示物などで構造化を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園や児童クラブなど、地域のお子様との交流の機会が持てていない事。	事業所の活動時間と地域の関係機関の活動時間が異なる為、時間の調整が難しいこと。	こちら主催で地域の子どもを招待できるイベントを、夏休みなどの長期休暇に設けられるか検討していく。
2	開所したばかりとはいえ、保護者間交流の機会が少ない事。	保護者様同士が顔合わせできる機会の不足が見られる。	保護者交流イベントを継続的に行い、保護者間でも繋がれるネットワークを構築していきたい。
3	部屋数が多いこともあり、扉の開閉による事故リスクが高い。	<ul style="list-style-type: none"> お子様が分かりやすいように掲示物で構造化を図ったが、理解していないことも多く、危険リスクが高い。 必要時には扉の施錠を行っているが力の強いお子様には開けられてしまうことがある。 	継続的に声かけ、ルールの徹底、危なくないような環境づくり(必要時には完全に施錠できるようにすることや、室内に危険なもの、崩れやすいように置かない等)をしていく。